

## 令和4年第2回広域紋別病院企業団議会定例会会議録（第1日）

### 1 開会日時

令和4年9月27日（火）

開会 午前10時00分

### 2 議事日程

日程第1 会期の決定

日程第2 報告第1号 令和3年度広域紋別病院企業団病院事業会計資金不足比率の報告について

日程第3 議案第1号 令和3年度広域紋別病院企業団病院事業会計決算の認定について

日程第4 議案第2号 広域紋別病院企業団監査委員の選任同意を求めることについて

### 3 出席議員（10名）

議長	山崎彰則君	副議長	矢野幸三君
2番	喜多俊晴君	3番	佐藤昌樹君
4番	田中勝彦君	5番	宮川法親君
6番	飯田弘明君	7番	林政利君
9番	大原敏彦君	10番	遠藤友宇子君

### 4 欠席議員（なし）

### 5 説明員

企業長	宮川良一君	事務局長兼事務部長	高橋健仁君
総務課長	長谷川哲也君	事務部参事	住出晋一君
総務課主幹	齋藤知樹君	医事課長	西塔信弥君
経営企画課長	平塚健次君	建設整備室主幹	谷口隆行君
総務係長	黄金知広君	職員係長	河本恵一君
財務係長	沼田英章君	医事係長	石川義起君
経営企画係長	中村みき君	監査委員	村井毅君
書記	尾碕慎一君		

### 6 議会出席職員

書記長	若原喜直君	書記	細川貴志君
書記	川勝亜樹子君	書記	石川夢菜君

午前10時0分 開会

○議長（山崎彰則君） ただいまより本日をもって招集されました令和4年第2回広域紋別病院企業団議会定例会を開会いたします。

本日の出席議員数は10名であります。よって、開議の定足数に達しましたので、これより会議を開きます。

本日の会議録署名議員には、4番田中勝彦君、7番林政利君の両君を指名いたします。

ここで書記より諸般の報告をいたさせます。

川勝書記。

○書記（川勝亜樹子君） ご報告を申し上げます。

まず、本日の配付文書でございますが、本定例会議事日程、説明員等報告を配付してございます。

次に、本日の議事日程ですが、日程第1から第4までとなっております。

以上で報告を終わります。

○議長（山崎彰則君） ここで、企業長から発言を求められておりますので、これを許します。

宮川企業長。

○企業長（宮川良一君） おはようございます。議事に先立ちまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、令和4年第2回広域紋別病院企業団議会定例会の開会に当たりご参集を賜り、厚くお礼を申し上げます。また、日頃より当院の運営につきましては多大なるご支援、ご協力をいただき、感謝を申し上げる次第であります。

さて、令和3年度におきましては、眼科の常勤医師の着任により待望の白内障の手術が開始されました。一方、複数の内科医が退職したことにより年度末の診療部医師数が17名と前年度末より2名少なくなりました。

その影響もあって入院患者数は減少した一方、外来患者数は内科の診療を非常勤医師で維持したことや、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた診療科の患者数が戻ってきたこともあり、前年度から回復し増加いたしました。令和3年度の1日平均患者数は、入院では前年度より5.3名減の67.8人、外来は40.3人増の336.3人となったところであります。

長引く新型コロナウイルス感染症の対応につきましては、発熱外来で引き続き必要な方の検査を実施しているほか、感染状況に合わせて病床を確保しております。

地域での医療体制の提供につきましては、手術件数が536件と、眼科手術が開始されたこともあり、過去最大の件数となっております。

今後とも当院の運営並びに西紋別地区の医療の充実につきまして、ご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

次に、本定例会に提案いたします議案の概要についてご説明を申し上げます。

報告第1号令和3年度広域紋別病院資金不足比率の報告について、議案第1号令和3年度広域紋別病院企業団病院事業会計決算の認定についてであります。

収益的収入及び支出に係る決算額であります。収益的収入額38億1,605万2,564円、収益的支出額38億6,167万3,696円となっております。

次に、資本的収入及び支出に係る決算額でございますが、資本的収入額7億6,530万3,140円、資本的支出

額10億6,526万27円となっております。

議案第2号は広域紋別病院企業団監査委員の選任同意を求めることについてであります。

詳細につきましては、議事日程に従い報告第1号及び議案第1号は事務局長が、議案第2号は私がその都度ご説明いたしますので、よろしくご審議賜りますようお願いを申し上げます。挨拶とさせていただきます。

○議長（山崎彰則君） これより本日の議事に入ります。

日程第1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は本日1日間といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日間と決定いたしました。

日程第2、報告第1号を議題といたします。

報告第1号について提出者の説明を求めます。

高橋事務局長。

○事務局長兼事務部長（高橋健仁君） ただいま上程されました報告第1号令和3年度広域紋別病院企業団病院事業会計資金不足比率の報告につきましてご説明を申し上げます。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、令和3年度決算の資金不足比率の概要について、要点のみご説明させていただきます。

資金不足比率とは、貸借対照表の流動資産から流動負債を差し引いた額が赤字の場合、その赤字額を事業の規模で除した比率であり、これが経営健全化基準である20%以上となりますと、経営健全化計画を策定し、事業の効率化を図り、資金不足を解消していかなければなりません。

当企業団の令和3年度病院事業会計決算における資金不足比率は、流動資産が15億2,146万1,000円に対して、控除後の流動負債が7億2,044万8,000円で、その差引き額8億101万3,000円が資金剰余となり、資金不足は発生しておりません。

以上、ご報告いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

○議長（山崎彰則君） 質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

以上で報告を終わります。

日程第3、議案第1号を議題といたします。

本案について提出者の説明を求めます。

高橋事務局長。

○事務局長兼事務部長（高橋健仁君） それでは、議案第1号令和3年度広域紋別病院企業団病院事業会計決算の認定につきましてご説明申し上げます。

お手元に配付しております決算書に基づきご説明申し上げますので、まず決算書の1ページ及び2ページをお開き願います。

初めに、収益的収支から説明いたします。なお、説明に際しまして予算額は合計額のみ説明させていただ

きますのでご了承願います。

収益的収支の収入についてであります。1 款病院事業収益は、予算額39億9,206万3,000円、決算額38億1,605万2,564円で、予算額に対し1億7,601万436円の減となっております。

次に、支出についてであります。1 款病院事業費用は、予算額39億5,455万3,000円、決算額38億6,167万3,696円で、不用額は9,287万9,304円となっております。

なお、特別損益を除く経常収支の不足額等は、基金残高を勘案し、基金収入補助金3億4,612万4,000円をもって経常損失の一部補填を図っております。

次に、3 ページ及び4 ページをお開き願います。

資本的収支の収入についてであります。1 款資本的収入は、予算額8億2,705万8,000円、決算額7億6,530万3,140円で、予算額に対し6,175万4,860円の減となっております。

次に、支出についてであります。1 款資本的支出は、予算額11億5,355万1,000円、決算額10億6,526万27円で、翌年度繰越額は4,075万2,750円であり、不用額は4,753万8,223円となっております。

なお、収支不足額2億9,995万6,887円につきましては、当年度分消費税資本的収支調整額5,446万2,999円及び過年度分損益勘定留保資金2億4,549万3,888円をもって補填しております。

次に、5 ページをお開き願います。

令和3年度広域紋別病院企業団病院事業損益計算書であります。

1、医業収益20億8,191万1,906円から2、医業費用36億8,632万1,694円を差し引いた医業損失は、16億440万9,788円であります。

次に、3、医業外収益16億9,640万9,651円から4、医業外費用1億5,680万7,675円を差し引いた医業外利益は15億3,960万1,976円であり、医業損失から医業外利益を差し引いた経常損失は6,480万7,812円でありませぬ。

次に、5、特別利益2,896万5,065円から6、特別損失1,409万1,115円を差し引いた利益は1,487万3,950円であり、経常損失を通算した当年度純損失は4,993万3,862円であります。

また、前年度繰越利益剰余金は2億9,636万8,956円ありますので、当年度未処分利益剰余金は2億4,643万5,094円あります。

次に、6 ページをお開き願います。

令和3年度広域紋別病院企業団病院事業剰余金計算書であります。

資本金の部の自己資本金であります。前年度末残高から増減はありませんので、当年度末残高は46万8,969円あります。

次に、剰余金の部の資本剰余金であります。前年度末残高から増減はありませんので、当年度末残高は2億6,667万2,422円あります。

次に、利益剰余金であります。前年度末残高に当年度純損失4,993万3,862円を控除した結果、当年度末残高は2億4,643万5,094円あります。したがって、資本金と剰余金を合わせました資本合計の当年度末残高は5億1,357万6,485円あります。

次に、令和3年度広域紋別病院企業団病院事業剰余金処分計算書であります。

剰余金の処分数はありませんので、当年度末残高と処分後残高は同額となっております。

次に、7 ページをお開きください。

令和3年度広域紋別病院企業団病院事業貸借対照表であります。

資産の部、1、固定資産は、(1)有形固定資産、(2)無形固定資産及び(3)投資の合計で、82億9,779万4,544円であります。

次に、8ページ及び9ページをお開き願います。

2、流動資産は、(1)現金預金、(2)未収金、(3)貯蔵品、(4)前払い費用及び(5)前払い金の合計で、15億2,146万638円であります。

1、固定資産に2、流動資産を加えた資産合計は、98億1,925万5,182円であります。

次に、負債の部であります。3、固定負債は、(1)企業債、(2)紋別市借入金、(3)割賦未払金、(4)引当金及び(5)その他固定負債の合計で、63億4,822万9,335円であります。

4、流動負債は、(1)企業債、(2)紋別市借入金、(3)割賦未払金、(4)未払金、(5)引当金及び(6)その他流動負債の合計で、9億7,215万2,273円であります。

5、繰延べ収益は、(1)長期前受金及び(2)長期前受金収益化累計額の合計で、19億8,529万7,089円であります。

3、固定負債、4、流動負債及び5、繰延収益を加えた負債合計は、93億567万8,697円であります。

次に、資本の部であります。

6、資本金は、(1)自己資本金が46万8,969円あります。

7、剰余金は、(1)資本剰余金及び(2)利益剰余金の合計で、5億1,310万7,516円あります。

6、資本金及び7、剰余金を加えた資本合計は5億1,357万6,485円ありますので、これに負債合計を加えた負債資本合計は98億1,925万5,182円あります。

次に、10ページ目から20ページ目までは事業報告書であります。内容は、概況、工事、業務、会計、その他であり、ただいまご説明いたしました決算に関連した資料として記載のとおりでありますので、後ほどご通覧をお願いいたします。

以上、令和3年度広域紋別病院企業団病院事業会計決算のご説明を終わりますので、ご審議いただきますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（山崎彰則君） 次に、企業団病院事業会計決算について、監査委員の意見を求めます。

村井監査委員。

○監査委員（村井 毅君） おはようございます。

それでは、令和3年度広域紋別病院企業団病院事業会計決算審査の概略をご説明申し上げます。

審査意見書の1ページをお開き願います。

なお、相対的な計数等につきましては、ただいま事務局長の説明と重複いたしますことから割愛させていただきます。

最初に、審査の対象でございますが、地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付されました令和3年度広域紋別病院企業団病院事業会計決算のほか、財政調整基金の運用状況でございます。

次に、審査の期間でございますが、本年5月30日から8月5日にかけて審査を行ったものであります。

次に、審査の概要でございますが、広域紋別病院企業団監査基準に基づきまして、審査の着眼点は、主に決算報告書等が関係法令に準拠して作成されているか、事業の経営成績及び財政状態が適正かつ正確に表示されているか、また、基金運用状況につきましては表示された計数が正確か、運用が設置目的と整合してい

るかなどといたしまして、実際の審査に当たりましては、決算報告書等と総勘定元帳等とを照合いたしましたほか、関係書類の閲覧や担当者の説明を求めるなどいたしまして、公正、妥当と思われる方法により計数及び予算執行の適否を確認いたしましたものであります。また、所管の現金預金につきましては毎月現金出納検査を実施しておりますことから、原則として本審査から除外してございます。

最後に、審査の結果についてでございますが、前段申し上げた方法により審査した結果、決算諸表等は法令に準拠して作成され、計数も正確であり、経営成績や財政状態も適正かつ確実に表記され、基金の運用状況につきましても設置の目的に沿って運用がなされ、計数も正確と認めたものでございます。

以上、審査の概略を申し上げましたが、末尾に参考資料を添付いたしましたほか、19ページから20ページにかけて総括として審査意見を記載してございますので、ご通読を賜りまして、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（山崎彰則君） 質疑を行います。

まず、議案第1号収入支出のうち、支出について質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。よって、議案第1号収入支出のうち、支出についての質疑を終結いたします。

次に、議案第1号収入支出のうち、収入について質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

採決いたします。

議案第1号は認定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。よって、議案第1号は認定することに決しました。

日程第4、議案第2号を議題といたします。

本案について提出者の説明を求めます。

宮川企業長。

○企業長（宮川良一君） ただいま上程されました議案第2号広域紋別病院企業団監査委員の選任同意を求めることについて提案理由をご説明申し上げます。

本案につきましては、本企业団監査委員であります村井毅氏が本年10月4日をもって任期満了となりますことから、これが後任者選任のための提案であります。

恐縮ですが、お手元の議案の住所、氏名、生年月日の空欄となっております箇所にご記入いただきたいと思っております。

住所、紋別市渚滑町4丁目59番地の1、氏名、敬称を省略させていただきます、村井毅、生年月日、昭和31年1月6日生まれ。そのようにご記入をお願いいたします。

以上、選任いたしたくご提案申し上げますので、ご同意くださいますようお願い申し上げます。

○議長（山崎彰則君） お諮りいたします。

本案はこれに同意することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。よって、本案はこれに同意することに決しました。

ここで、ただいま監査委員に選任同意されました村井毅君からご挨拶をいただきたいと思います。

○監査委員（村井 毅君） お許しをいただきましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

ただいま監査委員の選任同意を賜り、誠にありがとうございます。改めまして、職責の重さを痛感している次第でございます。

本年3月、総務省は新たな病院事業経営の指針となるガイドラインを策定いたしました。地域医療をめぐる環境が少子高齢化や人口減少等により厳しさを増す中、持続可能な地域医療提供体制が確保されるよう公立病院の経営強化を求めており、本地域のセンター病院であります広域紋別病院のより効率的かつ適法、適正な病院経営に僅かでも資することができますよう初心に戻り、研さんに努めて職務に臨んでまいりたいと存じますので、皆様方のご指導、ご鞭撻を引き続きよろしくお願い申し上げます。簡単ではございますが、ご挨拶に代えさせていただきますと存じます。どうもありがとうございました。

○議長（山崎彰則君） 以上で挨拶を終わります。

以上をもって本定例会に付議されました案件は全部終了いたしました。

令和4年第2回広域紋別病院企業団議会定例会はこれをもって閉会いたします。

午前10時25分 閉会

以上、会議録の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員